

飛騨市学園構想

SUPER COMMUNITY SCHOOL

思いっきり探究学習
in 大正大学



飛騨市学園構想で掲げている「異年齢との交流」や「社会とつながる探究学習」として、8月に飛騨市内の中学生6名が大正大学での探究学習に参加しました。

◆大正大学で大学生から学ぶ探究

まずは、「地域通貨ゲーム」を行いました。このゲームを通して、地域でお金を流通し、経済の活性化を図るために、地域通貨の利用は効果的であることを体感しました。

次に、大正大学地方創生学部の3・

4年生による地域活性化に関する探究学習の発表を聞きました。

最後に、中学生が進めている探究学習で、困っていることや知りたいことを大学生に相談しました。大学生から自身の経験に基づく具体的な助言をもらう事により、自分たちの困っていることの解決につながるヒントをたくさん得られました。

◆学びを自分の探究につなげる

2日間の活動を終えた生徒たちは、「パンフレットの効果的な伝え方を知れたので、パンフレットを中学生が作っているというアピールをしたい。」「町づくりの企画を自分の町でどう生かせるか考えたい。」など、自分の探究学習につなげて考えていました。これからの探究学習の発展が楽しみです。



これからの探究学習につながる2日間



大学生との交流で今後の活動に向けて、たくさんのヒントを得られました

問 学校教育課 ☎ 0577-73-7494

今月のゼロカーボンアクション

What amazing solar power!

今さら聞きづらい太陽光発電について

広がる太陽光発電

太陽光発電導入率の増加は
2012年と現在を比較すると

約 **14** 倍

太陽光発電とは、太陽の光を受けることで電気を生産する太陽光パネルを、ご家庭の屋根や空いた土地などに設置し発電をすることです。

太陽光発電の最大の特長は、エネルギー源が太陽であるため無尽蔵で、発電の際に汚染物質や温室効果ガスを排出することがなくクリーンである点です。近年では、企業が SDGs に取り組むことや、カーボンニュートラルへの貢献が、社会的責任 (CSR) となりつつあります。

太陽光発電のメリット

電気代金を抑えてお得に

発電した電気を使用して毎月の光熱費を大幅に節約できます。余った電気を蓄電池にためたり、お湯を沸かしてためておいたり、電力会社に売ることもできます。

多様な設置方法

太陽光発電システムは、導入するシステムの規模に関係なく発電効率がほぼ一定です。設置する場所の広さに合わせて自由に規模を決められるため、一般家庭から大規模施設まで、それぞれの施設に合ったシステムを設置できます。屋根や屋上などへの設置のほか、近年ではビルの壁に設置するケースもあります。

もしもの時の災害対策

自然災害は予想できず、もしもの時の備えが大切です。太陽光発電によって作った電気は地震や台風などの災害時に停電した場合でも使うことができます。

飛騨市の補助制度

再生可能エネルギーの利用を促進し、温室効果ガスの排出削減を図るため個人住宅への太陽光発電設備等の設置補助を行っています。申請に関しては下記サイトご参照ください。

<https://www.city.hida.gifu.jp/soshiki/16/46839.html>

検索 飛騨市 太陽光 で検索

年間の CO₂削減量

・ 919.8 kg-CO₂/世帯

3.5kW の太陽光パネルによる発電量分の CO₂ 排出量が削減

問 環境課 ☎ 0577-73-7482

こんにちは 市民病院です

MR I 装置 (磁気共鳴画像診断装置)

MR I 装置（磁気共鳴画像診断装置）は、強力な超電導磁石が使われた装置です。人体を構成する水や脂肪と電磁波を共鳴させることで、身体を画像化し、全身の部位や疾患を様々な角度から観察することができます。エックス線を使用しないため、放射線被ばくの心配はありません。ただし、装置の騒音がうるさいことや、狭い筒の中で長時間静止する必要があること、また、運用にかかる費用が短所とされています。

飛騨市民病院では、老朽化した従

来のMR I 装置に代わり、新しい装置を令和5年4月に導入しました。新しい装置では、工事現場にいるような騒音が軽減され、小さなお子さんでも怖がることなく検査をすることができます。また、筒の径も10cm拡張され、検査を受ける際の圧迫感が以前ほど感じられなくなりました。加えて、撮影時間も最大で50%短縮されました。

さらに、従来の装置では超電導を維持するために、高額で希少な液体ヘリウム1500ℓを必要とし、運用中に少しずつ漏れていくため、定期的に補充する必要がありました。しかし、新しい装置では、技術の進化により液体ヘリウムの使用量がわずか7ℓと、以前の装置の200分の1以下にまで減少しました。さらに、装置内が密封されているため、漏れの心配や補充の必要もありません。これにより、環境への影響や経費の削減に

もつながっています。

撮影能力においても、詳細で鮮明な画像が描写できるようになりました。また、内臓の検査や全身の骨転移の検査など、以前は困難だった検査が可能になり、診療の質が向上しました。

当院では健康な方でも脳ドックなどでMR I 検査を受けることができます。自身の健康管理のために、ぜひご利用ください。



問 飛騨市民病院
☎ 0578-82-1150



<その56> はじめませんか？

生前の希望を叶える

『死後事務委任契約』という言葉を知ったことがありますか。これは、死亡後のさまざまな手続きについて、あらかじめ、依頼する人とそれを行ってくれる人との間で交わす生前契約のことです。

この契約が必要となるのは、頼れる親族がいない、親族はいても自分より高齢で頼めない、何らかの理由で親族と絶縁しているといったケースです。

故人の希望を遺すものとして思い浮かぶのが『遺言』ですが、遺言に

よって法的な拘束力があるものは、相続や遺言執行者に関するに限られており、葬儀や納骨、家財の処分などの希望を遺言に書いても法的効力がありません。そのため、そのような希望を確実に叶えるためには『死後事務委任契約』を結ぶ必要があります。

では、どのようなことが死後事務委任契約でできるのか。まずは『葬儀などに関する手続き』として、遺体の引き取り、葬儀・火葬の手続き、埋葬・お墓に関する手続きがあります。また『死後の行政に関する手続き』のほか『契約や支払いに関する手続き』『家財の処分』などを依頼することができ、依頼者が希望することを生前に公正証書によって契約しておきます。

飛騨市終活支援センターでは、飛騨市にお住まいの方で、相続の対象となる親族のいない方を対象に死後

事務委任契約事業をスタートしました。

死後事務委任契約の代理人には特別な資格は必要ないため、信頼できる友人や知人、親戚などに依頼することが多いです。もしそういった人がみえずお困りの場合は、飛騨市終活支援センターへご相談ください。



問 飛騨市終活支援センター
(飛騨市社会福祉協議会内)
☎ 0577-73-3214